

研究課題名	難治性頭痛を有する虚血発症型もやもや病患者におけるアスピリンの有効性に関連する要因の検討
所属(診療科等)	薬剤部
研究責任者(職名)	木村利美
研究期間	平成(西暦)24(2012)年 10月1日 ~ 平成(西暦)26(2014)年7月31日まで
研究目的と意義	もやもや病患者さんの頭痛は血行再建術を施行し脱力発作の減少・消失などの治療効果が得られても症状が残存するケースがあり、対症療法としてアセトアミノフェンやNSAIDsの投与が試みられても治療効果が乏しく、QOLの低下につながっています。頭痛を有する虚血発症型もやもや病患者を対象に、鎮痛剤としてのアスピリンの安全かつ有効な投与方法について検討します。
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さん 2012年10月から2014年7月までの間に東京女子医科大学脳神経外科に通院または入院した虚血発症型もやもや病の患者さん(20歳以下)を対象とします。</li> <li>●利用するカルテ情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>①年齢</li> <li>②性別</li> <li>③身長</li> <li>④体重</li> <li>⑤診断名</li> <li>⑥治療内容</li> <li>⑦検査結果</li> <li>⑧経過記録</li> <li>⑨既往歴</li> </ul> </li> <li>●研究方法 後ろ向き観察研究(アスピリンを投与された患者さんの頭痛に対する有効性と安全性を様々な角度から検証します)。</li> </ul>
被験者の人権に対する配慮	<p>本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言(2013年10月修正)」及び「臨床研究に関する倫理指針(平成20年7月31日改正)」を遵守して実施します。</p> <p>研究実施に係る生データ類等を取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮します。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者のデータを使用しません。</p> <p>ご自身の診療データを研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。</p>
問い合わせ先 (ご意見・苦情に関する相談窓口も兼ねる) 受付時間:月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)	<p>研究担当者 氏名: 柏瀬しのぶ(東京女子医科大学病院薬剤部) 住所: 東京都新宿区河田町8-1 電話: 03-3353-8111</p>